

ラーニング・サポーター ♪ 9月のつぶやき -JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館 2 階 JWU ラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つぶやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています！

<9月のつぶやき♪INDEX>

p1 教育実習を振り返って @史学科サポーター(大学院博士課程前期2年) 9月6日 up

p1 料理をしたくない言い訳 @児童学科サポーター(大学院博士課程後期3年) 9月7日 up

つぶやき1♪ 教育実習を振り返って

皆さんいかがお過ごしでしょうか。9月に入り、朝晩が涼しく感じられるようになりましなね。しかし、日中はまだまだ暑い日が続いていますので、体調には十分お気を付けてください。

さて今月のつぶやきですが、私はちょうど2年前のこの時期、教育実習に行っていました。本来は5~6月にかけて実施される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、9月実施となりました。皆さんの中にも、来年度教育実習に行かれる方がいらっしゃるかと思います。そこで今回は、私が体験した教育実習について書いてみたいと思います。

私は母校の高校で教育実習を行いました。初めて教壇に立った時や「先生」と呼ばれた際はとても緊張し、なかなか言葉が出てこなかったことを鮮明に覚えています。それでも最終週にもなると、やっと慣れてきた感じがしました。

授業についてですが、担当は高校2年生の日本史で範囲は鎌倉時代でした。はじめは思うように進められず、反省する毎日でした。説明の仕方、板書、授業のスピード、一方的な授業は理解しづらくなるといったことなど、その場で臨機応変に対応していく難しさを実感しました。

しかし教育実習だからこそ、多くの体験や挑戦をしてみたいと考えを改めました。実習後半は反省ばかりではなく、教材研究やより良い授業の仕方を調べることに全力を尽くしていました。その中で私は、アクティブ・ラーニングを取り入れることに挑戦しました。近年の授業ではアクティブ・ラーニングを取り入れることが求められています。私は研究授業の際に取り入れたこともあり、高校生が積極的に参加してくれるか不安もありました。しかし実際に試してみると、想像以上に盛り上がり、生徒からも「楽しかったです！」の言葉を聞くことが出来ました。また研究授業でしたが、私自身もその時間は楽しく進められ、いつしか緊張も無くなっていました。今振り返っても、挑戦して良かったと心から思います。

そして教育実習は授業だけではなく、ホームルームや部活動などでも多くの生徒と交流します。いろんな生徒とお話すると、それぞれの個性が見られ、とても面白かったです。

この3週間は緊張と不安でいっぱいでしたが、最後は「楽しかった。貴重な経験になった。」と思え、一生の宝物になりました。教育実習を控えている皆さん、ぜひ有意義な時間になることを祈っています。ラーニング・サポーターでは教職関連の質問も受け付けていますので、授業の準備などでお困りのことがありましたら、ぜひお越しくださいね。

つぶやき2♪ 料理をしたくない言い訳

家事の中で一番苦手、というかやりたくないのは料理である。

文学研究科 史学専攻 博士課程前期2年

【専門分野】

日本中世仏教史(星供と呼ばれる法会について研究を行っています。)

【サポート内容】

履修相談、参考文献の探し方、レジュメ・レポートの書き方 など…

【取得資格】

中学校教諭一種免許(社会)、高等学校教諭一種免許(地理歴史)

何かお困りのことがありましたら、
お一人で考え込まず、お気軽に
ラーニング・サポーターのところへお越しください！

一人暮らしではないが、父母、弟妹3人と同居しているので、やらなくてはいけない家事の種類と量はそこそこにある。父は掃除が好きなので、家の中の掃除は父とルンバ(ロボット掃除機)がする。私がしなくてはいけない家事は、洗濯と食器洗い、そして料理(夕食)である。基本は母と一緒に夕食を作っているが、母や父の帰りが遅い日は私が作らないといけない(中学生の妹に手伝いを頼んでも、反抗期なのか来てくれることはほぼない)。洗濯と食器洗いについては乾燥機と食洗機があるとはいえ、6人分となると、乾燥機だけでなく毎日外にも干さなくてはならないし、一回の食事でも出る食器の数も多い。それでも夕食作りよりはましである。

人間生活学研究科 人間発達学専攻 博士課程後期3年(児童学)

- 経歴
本学 家政学部児童学科 卒業
本学 家政学研究科児童学専攻(修士)卒業
- 資格
保育士/幼稚園教諭/小学校教員
- 研究分野
「向社会的行動(思いやり行動)」について研究
幼稚園や小学校にて参与観察を行い、質的分析を行っています
- ひとこと
「進路に向けて何をしよう?」「研究テーマはどうやって決める?」「教職は大変かな?」など…気になっていることはありませんか。考えるお手伝いをさせていただきます♪ぜひお声がけください!



理由はわかっている。(面倒くさがりということは置いておいて、)一言でいうとコスパが悪いと思ってしまうのだ。まず、洗濯や食器洗いはゴールが決まっている。すべて干し終える、すべての食器や鍋を洗い台所がきれいになる、という完成形がはっきりしている。それらにかかる時間も把握できているし、よほどのことがない限りうまくいかないことはない。しかし、料理は完成した状態が明確でない気がしてしまう。ちゃんと焼けているのか、まだ温めた方がいいのか、味付けはこれでいいのかなど、余白がたくさんある感覚が好きではない。完成形がつかめないためかかる時間も把握できず、そして(6人分の食事なので)労力も材料も消費したにもかかわらず、出来上がったもののおいしいといえないことがある。

その点、カレーや鍋はいい。玉ねぎやニンジンを切って、順番に炒めて煮てルーを入れれば完成する。手順が決まっていて、味付けや焼き加減を気にすることもなく、完成形が見えている。難しいのは、「冷蔵庫のもの適当に使っちゃって」などの指示が母から出たとき。適当に作るということができたためしがないし、作ろうとも思えないので、弟たちには「テキストに」ラーメンやうどんを食べさせている。

食べることは好きで、美味しいものを食べたいと思っている。だからこそ、とくに食べたくない自分の作るものを、大変な思いをして作ることに「コスパが悪い」と思ってしまう。この話を人にすると、料理をしない人には共感してもらえるが、母のような「適当に美味しいものを作れる」人には、作っているうちにできるようになる、とお説教(?)される。そのたびに、作れるようになりたいわけではないと屁理屈をこねながら、家族と一緒に住まなくなっても、母に自分の近所で小料理屋を開いてもらってそこを台所にしようと計画している。



ラーニング・サポーターのつぶやき (2022年9月)

ホームページ https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc_ls.html

編集: JWU ラーニング・commons さくら